

A. 基本計画の目的

(1) 基本計画の経緯と目的

岡垣町では、昭和30年代から50年代にかけて学校施設を建設しましたが、現在、これらの更新時期を迎えています。

なかでも、昭和36年に建設した岡垣中学校は、60年以上が経過し、現状の校舎を維持しながらの長寿命化（外壁改修・屋根防水）、増築や内部改造によるバリアフリー化（エレベーター設置等）は、敷地の制約、高さ制限などの規制条件に加え、耐用年数を既に超えていることから困難な状況です。

また、令和3年1月、中央教育審議会は“「令和の日本型学校教育」の構築を目指して”を答申しました。それには、Society5.0時代にふさわしいGIGAスクール構想による1人1台端末、校内ネットワークの整備等、新しい時代の学びに対応した多様な教育方法や自由な学習活動の展開、ポストコロナ時代を見据えた学習環境の整備等が示されており、大幅な施設整備の変革が求められています。

これらの課題に対応するため、「まちの未来計画（岡垣町第6次総合計画）（令和3年3月）」を踏まえ、令和3年度から7年度までを計画期間とする「岡垣町教育大綱（令和3年3月）」及び令和4年度から13年度を計画期間とする「岡垣町教育基本構想」を策定しました。

また、「岡垣町公共施設等総合管理計画（平成29年3月、令和6年3月一部改訂）」には、財政面や公共施設等の長期的な視点による方針を定めており、これらに基づき、岡垣中学校の建替えを前提とした総合的な整備を検討し、今後の施設整備の具現化を図ることを本計画の目的とします。

(2) 基本計画の策定に向けて

学校施設整備の検討は、まずは子どもたち一人ひとりに最適で質の高い教育を提供するため、教育環境の充実を図る必要があります。そのため、どのようなことが考えられるかを第一に進めることが大切です。

また、今後の岡垣町における人口の推移、他の公共施設の配置や地域コミュニティの観点などもあわせながら、学校規模の適正化や適正配置を含め、まちづくり全体を捉えて検討する必要があります。

これらの検討にあたり、数十年先を見据え、慎重に広く議論を進めることが求められることから、庁舎内での体制に加え、町長の諮問機関である岡垣町学校施設適正配置検討審議会を新たに設置し、慎重かつ丁寧な議論を行いました。

●審議会検討スケジュール

開催回数 (開催日)	内 容
第1回 (令和6年8月26日)	・ 諮問 ・ 審議会の目的、主旨 ・ 町の学校施設に係る基本方針について
第2回 (令和6年9月24日)	・ 基本方針（適正規模・小中一貫教育）に関する審議 ・ 各小中学校の整備時期等について
第3回 (令和6年11月27日)	・ 義務教育学校の設置に係る町の考え方について ・ 小中一貫教育（義務教育学校）について (文科省より講義)
第4回 (令和7年1月8日)	・ 基本方針（適正規模・小中一貫教育）に関する審議 ・ 答申（案）の検討
第5回 (令和7年2月5日)	・ 答申（案）の最終確認 ・ 町の基本方針（案）に関する審議 ・ 町長への答申

(3) 検討結果

令和7年2月5日、岡垣町学校施設適正配置検討審議会から「将来にわたる児童生徒の教育環境の充実に向けた学校施設整備に係る基本方針について（答申）」を受けました。

その中で、岡垣中学校の施設整備については、「今後の児童生徒数の減少などを考慮した検討が必要であることも一定の理解はできるが、施設の老朽化の現状を踏まえ、生徒の安全を第一に考え、早急な整備を図られたい。」とされています。これを受け、令和7年3月に策定した「将来にわたる児童生徒の教育環境の充実に向けた学校施設整備に係る基本方針」において、岡垣中学校の施設整備については、現地での建替えとし、将来的なレイアウトを検討した上で早急に整備することとしました。

■令和7年3月「将来にわたる児童生徒の教育環境の充実に向けた
学校施設整備に係る基本方針」（抜粋）

(3) 岡垣中学校の施設整備について

岡垣中学校は、建築年が最も古く、令和13年度で築70年となります。耐震補強等により、施設の安全面は、維持しているものの、廊下の軋みや教室の雨漏りなど老朽化が進行し、生徒や教職員にとって良好な教育環境とは言い難い状況にあるため、早急な建替えが必要です。学校の適正規模や将来的な展望を踏まえ、他校との合築等はせずに現在の敷地内で建替えを進めることとします。

なお、新しい校舎の建設に際しては、今後の児童生徒数の推計や建設地の敷地条件などを考慮した上で、校舎の構造や規模、新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方、機能的なレイアウト等工夫検討し、その上で、早期に建替えを進めることとします。

(4) 基本計画の位置づけ

この基本計画は、岡垣中学校の建替え工事に向けて、学校の規模や求められる機能など、学校建設に関する基本的な考え方について整理し、今後の設計に反映します。